

2023 年度 第 2 回企画環境委員会 議事録

【日 時】 2023 年 6 月 26 日 (月) 13:30 ~ 17:00

【会 場】 日本代協 事務局

【出席者】 松本委員長

北海道	広川	北東北	伊藤	南東北	佐々木	上信越	片桐
東関東	五木田	南関東	大久保	東京	西條	東海	井戸
北陸	川尻	近畿	是洞	阪神	中塔	東中国	阿部
西中国	村松	四国	開出	九州北	麓	九州南	谷口

【オブザーブ】 小俣副会長

【事務局】 坂常務、大谷部長 【司会】 広川副委員長 【議事録】 事務局

【委員会の要旨(確認、決定したこと)】

1. 全国一斉 Zoom ミーティングのグループディスカッションは、ランダムでグループ分けし、代理店価値向上策の推進取組共有と課題を話しあう
2. 代理店価値向上策の各セミナーの開催

議 事

. 挨拶

1. 坂常務理事挨拶

2. 松本委員長挨拶

- ・本日もお忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。
- ・昨年度の実績はジギョケイ・BCP とともに達成率は 6 割、社労士診断は 5 割。リスクマネジメント講座は三冠王項目でなかったことから難しかったのだと思うが、今年度も引き続きお願いしたい。
- ・保険業界は、カルテルや大型モーターの件、火災保険料の値上がり等の問題が発生しているが、ますます企画環境の役割が大きくなってきていると感じている。先日の全国会長懇談会で金融庁 三浦保険課長から挨拶いただいたが、顧客本位の業務運営を実践するのは保険代理店ではあるが、個人商品の共通化・標準化を果たしていかないと顧客本位の業務運営を阻害するのではないかと保険会社に働きかけをしていると話されていた。その件については 7 月の活力研でも議論する予定である。
- ・現状では、共通化・標準化の情報がほとんど上がってきていないが、今後は顧客本位の業務運営と並行して情報を集めていただきたい。
- ・本日は、来週の全国会議の内容についても議論していきたい。

3. 司会進行・議事録作成者の指名

- ・司会進行に広川副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

. 報告事項

1. 報告事項

(1) 2022 年度答申・2023 年度事業計画

松本委員長が 5/12 開催の理事会にて承認された 2022 年度企画環境委員会答申の報告を行った。

また、2023 年度の事業計画(企画環境委員会に関連する項目)の説明を行った。

・審議事項

1. 募集現場の実態のモニタリング

不公正募集・特定修理業者対策・共通化・標準化案件は前回委員会以降の報告は無し。

西條副委員長から海外旅行傷害保険(企業包括)の基準代手率改定の説明が保険会社からなかった、との報告があった。

・7月の活力研において、松本委員長から丁寧な説明を行うよう保険会社に依頼する。

6/16 全国会長懇談会で損保協会から説明があった、特定修理業者対策について事務局が報告した。

・災害に便乗する悪質な業者対策ツール(損保協会提供)を日本代協 HP 書庫に載せる。

(主な意見)

・ディーラーではいまだに抱き合わせ販売が横行しているが、証拠がない(お客さまにとっては有利になるので)ので、モラルの徹底を各保険会社、損保協会に徹底していただきたい。

(松本委員長より)

・火災保険の基準代手改定と似た側面があるのではないかと。前回の活力研でも丁寧な説明を行うよう申し入れたが、現場では実践されていない実態がある。保険会社としても不公正募集は許さないというスタンスを持っているが、現場との意識のギャップが生まれているのだと思う。引き続き活力研の中でも徹底する。

(主な意見)

・大阪代協では委託契約書の問題を提起したいが、どこに提起したらよいのか教えていただきたい。企画環境委員会で論議し活力研に持ち込んでもらえるのか、コンベンションの懇談会に提起するのか。昨年大阪代協で行ったアンケート結果についても同様である。

(松本委員長から)

・保険会社の戦略に関連するものだと思うが、企画環境委員会の諮問事項から外れているので、委員会の中で議論するものではない。

2. 全国会議開催について

松本委員長より

・7/4(火)に全国会議を開催するが、8代協から報告がないので、改めて参加を依頼していただきたい。企画環境委員会の取組を全国に浸透させていくために重要な会議だと思っているのでお願いしたい。全国の企画環境委員に参加していただきたいが、Zoom 会議の関係で各県2名程度にしていきたい(次回以降は参加者を増やせるか検討する)。

・前半に企画環境委員会の諮問事項について説明をして、グループディスカッションに移りたい。

・グループディスカッションのグループ分けは前回と同様にブロック単位と考えているが意見を聞きたい。

(主な意見)

・ブロック協議会で共有しているはずなので、他の地域の取組を聞きたい。

・同じ県から複数参加する場合は、同じグループにしていきたい。

グループ分けは地域シャッフルとして、代理店の価値向上策の推進についての意見交換を行うことで決定した(グループディスカッションは70分を予定)。

(小俣副会長より)

・全国会議開催の意味を考えていただきたい。皆さんが取組の進捗を確認するときに取組の意義を理解していないので進んでいない、という声が聞こえてくる。例えば、社労士診断については、自社の最低限のルールができていのかどうか、健康診断の意味合いで実施することで外部から公のお墨付きをもらうことが社員募集において大切な事であり、それが代理店価値に繋がるのだということを理解していただく必要がある。そこを伝えきれずに単なる進捗確認だけだと全国に伝わらず、コミュニケーションギャップが生まれてしまうのではないかと。

埋めるための全国会議であり、目的だと理解して参加していただけたらと思う。

3. 代理店の価値向上策(ジギョケイおよびBCP作成推進)について

広川副委員長より

- ・2023年度は、ジギョケイ2,314件、BCP3,431件が目標である。
- ・先日のジギョケイセミナーは申込287件、参加209名、アンケート回答158名であった。参加者への事前アンケートでは、関心がある方が多かった一方、取得しない方もまだまだいた。
- ・セミナーに参加して改めて、ジギョケイ認定は差別化にもなるし武器になるとも感じた。
- ・中小企業庁作成のチラシについては、追加が必要であれば事務局へ報告いただきたい(部数に限りはあるが)。

松本委員長からジギョケイDM(富士フィルム)活用についての説明があった。

(主な意見)

- ・先日ワークショップを開催し参加者が真剣に聞いてくれて好感触だったが、GビズID取得を事前に依頼していたにもかかわらず参加26店中2店だけだった。
- ・GビズIDの取得も日本代協HPのトップページにジギョケイのパナーが張り付いてるので、そこから入っていける。
- ・7月に2会場でワークショップを開催する予定だが参加申し込みの半数はID取得している。Gビズは国策になっていて補助金申請等もGビズを通して行うことになっているので、ジギョケイをきっかけにGビズ登録をする大きなメリットがあるのではないかと。
- ・ジギョケイ認定をお客さまに勧める際に、やはりGビズ登録が必要となるので武器になると思う。
- ・支部単位で勉強会を行い宣言取得が増えたが、県代協役員の取得率が低いのが課題。
- ・昨年実施したが、今年もワークショップを開催する予定。少人数で繰り返し行うことにより、これがスタンダードになっていくと思いを継続していきたい。
- ・仙台市ではジギョケイ取得企業への補助金制度がある。

4. 代理店の価値向上策(社労士診断認証制度推進)について

開出副委員長より

- ・何のために認証を取得するのかを、皆さんが腹落ちしていただかないと更なる推進が難しいと考えている。宣言だけではなく、実施・適合へと進めていくことで人事労務関係にしても整備できるのである。
- ・2023年度は、宣言企業1,297件を目標としている。日本代協HPトップページにパナーが設置されているので活用していただきたい。
- ・推進にあたり皆様からの意見を聞かせていただきたい。

(主な意見)

- ・山口県代協にて秋口に社労士会とタイアップしたセミナーを開催予定。
- ・自社で実施企業を目指し社労士と打合せを行ったが、確認項目が多く、更に細かいことが多かった。例えば、営業社員の勤務時間(休憩時間含む)についてである。
- ・大阪では、事務局を通して社労士会に打合せを打診したが、単会ではなく連合会で推進しているので断られた。もっと社労士会に協力していただきたい。

松本委員長が確認する

「2023年度 社労士診断認証制度オンラインセミナー」を8月2日(水)に開催するので情宣願いたい。今回は、これまでと違い、より具体的な内容を説明したいと考えている。

5. 代理店の価値向上策(リスクマネジメント講座推進)について

西條副委員長より

- ・改めて確認するが、この取組の目的は、保険代理店として激変する業界環境の変化に対応し、持続可能性を高めると共に、リスクマネジメントの視点からレベルの高い提案を行うことであ

る。

- ・2023年度の進捗は2名の受講に留まっている。
- ・今年度からアカデミー会員だけでなく、代協会員にも価格のメリットができたので会員増強と絡めて推進していただきたい。
- ・また、今年度もオンラインセミナーを10月3日(火)に予定している。

松本委員長より

- ・ジギョケイ、社労士診断の根っこの部分がリスクマネジメントの考え方であるので、何故ここまで伸びないのか分からないが、その理由について皆さんのご意見やお考えがあれば頂きたい。

(主な意見)

- ・保険会社と代理店の関係で行くと、保険会社からは商品知識しか伝えていない。募集人教育が十分ではないのではないかと感じている。
- ・新種を提案するのに、良い商品が出ているのだが、方法を知らない代理店が多い。
- ・委員会の中で推進する項目が多く、伝えられていない。
- ・受講料を出すことがハードルになっていると思う(社労士診断の実施企業も同様)。

松本委員長より

- ・品質を高めるために、お金を払うことは当たり前感覚として保険代理店は持っておかなければいけないと思っている。保険会社からなんでも提供されてきた業界なので投資もせず、情報も取りにいかない事が当たり前になっているのではないか。本来は保険以外の情報を取り入れてアウトプットすることが差別化につながるのだと思う。そこを今、企画環境委員会の中で提供しているつもりであるので、活かしていただきたい。

6. 代理店の価値向上策(JSA-S1003)について

松本委員長より

- ・保険代理店にとって必要不可欠の施策であり、代理店の価値の見える化に繋がっていくと思っている。業界全体が何かの指標を基準にして品質を高めていくことが理想だと思うが、特にこのJSA-S1003は代理店の品質に直結するものだと思う。単に数字を追いかけるのではなく、しっかりと周知していただきたい。
- ・今年度は周知をする期間と考え、12月11日にオンラインセミナーを予定している。
- ・JSA-S1003立ち上げ時の委員長ではあったが、個人利益に関連させる意図はないので理解いただきたい。

7. その他意見

- ・次年度以降委員会は年4回にしていきたい(WEB会議はやめていただきたい)。

. その他情報提供・閉会

1. 情報提供および本日の到達点の確認

松本委員長より

- ・各地域のブロック協議会へ積極的に参加して取組み説明を行いたいので、声掛けをお願いしたい。
- ・WEBによる委員会情報交換会を11/13(月)、2/19(月)に行う予定である。

事務局より、下記情報提供があった。

- ・日本代協通常総会で来賓としてご挨拶いただいた金融庁 三浦保険課長の挨拶を共有する。

2. 小俣副会長所感

- ・日本代協の企画環境委員として参加している以上は、業界の品質を上げる使命を受けているのである。日常の本業を行いながらの推進であり、頭が下がる思いである。
- ・来年には運送業界の問題が取りざたされているが、他業界の問題としてではなく我々、人産業である代理店(自社)においても規定をしっかりと定めビジネスにつなげていただけたらと思う。
- ・皆さんは貴重な時間を割いて、重いミッションを背負いながらこの場にお集まりいただいている。

ることを認識してミッションを果たしていただきたい。
・本日は長時間お疲れ様でした。

以上

次回以降開催日

全国一斉 Zoom 会議 2023 年 7 月 4 日(火) 13:30 ~ 17:00 (WEB)

第 3 回企画環境委員会 2023 年 9 月 11 日(月) 13:30 ~ 17:00 (リアル)

第 4 回企画環境委員会 2023 年 11 月 13 日(月) 15:00 ~ 17:00 (WEB)

第 5 回企画環境委員会 2024 年 1 月 16 日(火) 13:30 ~ 17:00 (リアル)

第 6 回企画環境委員会 2024 年 2 月 19 日(月) 15:00 ~ 17:00 (WEB)